会 議 録

1 会 議 名

平成 22 年度 第 4 回 天水地域協議会

2 開催日時

平成 22 年 10 月 25 日(月) 午後 7 時 30 分

3 開催場所

天水総合支所 3階 会議室

4 出席者・欠席者

〈出席者〉

委 員：中山一久、小田昭子、田中正司、池田武、上山隆幸、池田彰孝、岩見利美
右田文昭、村上通、楠本砂恵、中村亘、平井百合、坂井リカ

〈欠席者〉

委 員：平野幸人、福田雅文

事務局：高寄市長、長谷川天水総合支所長、村上総務振興課長、森本市民福祉課長
齊藤総務振興課係長、平尾総務振興課参事、

主管課：牧野企画経営部長、永井管財課長、藤森管財課長補佐、松倉管財課主任
吉田地域振興課課長補佐、石貫地域振興課係長

5 会議内容(公開)

議 事

- 1) 新庁舎に関する意見について(聴取)
- 2) 地方バスに関する意見について(諮問)
- 3) 総合支所から支所への移行について(聴取)

6 議事の概略・協議結果

- 1) 新庁舎に関する意見について(聴取)
管財課より説明後、質疑応答。
- 2) 地方バスに関する意見について(諮問)
地域振興課説明後、質疑応答。
- 3) 総合支所から支所への移行について(聴取)
総務振興課説明後、質疑応答。

7 会議資料

- (1) 会議次第
- (2) 新庁舎建設に関する資料
- (3) 「新玉名駅」開業に向けたバス路線の再編についての資料

(4) 総合支所から支所への移行に対する意見の聴取についての資料

8 傍聴者の数

0人

9 非公開の理由

—

10 会議録の種類

要点記録

11 発言の内容

開会宣言、会長挨拶については記載省略。

(会長)

まず議事に入ります前に、議事録署名人を指名いたします。今回は田中委員と小田委員をお願いいたします。それでは初めに市長より挨拶をお願いします。

【市長挨拶については記載省略】

それでは、議事に入ります。議題 1 の新庁舎建設に関する意見について、担当課より説明をお願いします。

【新庁舎建設に関する資料に基づいて、管財課より説明】

(会長)

只今、市長、管財課より新庁舎建設に関する位置ごとの条件、特性について説明がございました。只今から委員の皆様方のご質問、意見等を聞きたいと思えます。なにかございませんか。

(委員)

今、3ヶ所の説明をしていただきましたが、以前から予定地にされておりました市民会館の周辺というのが一番いいように思います。国道に直接あるのは避けたほうがいい気がします。市民会館周辺には、いろんな公共施設があり、駐車場も平面で使用でき、市民の皆様様の利便性が高いように感じる。又建設もしやすく、将来はバス路線も出来てくれば、利用も多くなり、新幹線も直接影響はできませんが、「新玉名駅」にも近いし、周辺に空き地があるということは、今後、非常にメリットになると私は思います。いろんな面から市民会館周辺がいい場所だと感じました。

(委員)

特例債がらみで、最終的判断はいつまでなら間に合うんですか。

(管財課)

場所に関してですか。合併特例債の適用期限が平成27年度までの完成で、今年を除いて、あと5ヶ年になります。23年度からどこの場所にしろ、詳細な設計をしなくてはならないので、来年度の予算にあげなくてはいけないので、やはり今年中には決定しなくては

いけなくなります。

(委員)

予算がらみだと年内になりますよね。実質的には、あと2ヶ月ぐらいですよ、その段階でこの話というのは、かなり無理があるのではないですか。

(会長)

検討委員会は9月にあったんですかね。

(管財課)

9月の初めにありまして、そのときは2ヶ所かける、3段階の削減案の6案と言う考え方がでておりました。

(会長)

その中には、この凸版はでていたんですか。

(管財課)

いえ、出ていませんでした。

(会長)

検討委員会の後に、凸版と言う案がでてきたんですか。

(企画経営部長)

検討委員会で審議いただいたのは、先ほど市長の挨拶にもありましたけれど、市民会館周辺と現庁舎とあわせて白紙の状態を検討していただきたいというのが、そもそものなげかけであったわけですが、結果的には市民会館と現庁舎を先ほどありましたように、3段階、5億、10億、20億を削減する案として、6案が、検議で示されたと言うことでございます。それと11月まで検討委員会をひっぱりまして検討を加えても、ということで、検討委員会のほうも、その6案と併せて、もし他にもそういう適地があるならばと言うような事を、検討いただければと言うことが、検議の中味であった訳です。そう言うなかで市の中心であるジャスコの2月の撤退、亀甲凸版の3月頃伊倉の方に移転すると言うようなことで、空洞化と併せて、その場所を確認しましたところ面積的にも、位置的にも、中心市街地の空洞化も含めて今回、市役所、市民会館、それと凸版、3つの所を含めて、協議会、議会の特別委員会、今は、地区の懇談会からも新庁舎の建設についてのお尋ねもでておりますので、そう言った機会を通して先ほどからありますように、早い時期に方向性を出して、そして次年度への予算化、あるいはスケルージュへの見立てが必要になっているものですから、今回の天水協議会の委員の皆様方の意見をお聞きしたいと言うことです。

(会長)

前回出ていました市民会館付近ですね、これが比べてみても、いいように感じますが、4年前、この地域協議会で4回協議を行って天水町では市民会館付近ということで結論を出したわけですが、今回の場合は、意見を聞くだけということですか。

(管財課)

この協議会で、まとめてもらわなくてもかまいません。例えば意見を集約して何処か一箇

所絞るという話じゃなくてかまいません。

(会長)

なぜその市民会館付近になったかと言うと、庁舎を建てると、50年70年と使用するわけですね、先ほども話ができましたが、将来的に合併の予知もあるので、そういう事も考えて市民会館の方がいいのではないかと言う話になっていたわけですが、まだ玉東町・南関町・和水町・荒尾市もあるので、まだ第二次の合併になってもあの周辺だったら用地も可能かな、という方向で天水町は市民会館付近になったと思いますが。空洞化にはなりません、現地で建替える場合は、仮庁舎に引っ越しもしなくてはならないですし、相当なエネルギーも要るわけですね。何故無理してしなくてはならないのですかね。単価とか面積とか狭めて良いわけですよ。贅沢な庁舎を作れと言っている訳では無いんです。面積が同じ10,000 m²、30万円/m²位だったら平地の方が良いのではないかと私は思うわけです。

(企画経営部長)

今、会長さんの方から言っていたことが、天水地域協議会の意見として、私共は受け取っていいのでしょうか。

(会長)

いや。今のは、私の個人的な意見ですので、遠慮なく皆さんも意見を述べた方が良いでしょう。こんな機会も無いので。

(委員)

今に関連しまして、前市長の時、市民会館付近と決定していたのですが、その時、条件と特性をどれだけ吟味されていたのでしょうか。それともまったく前は、無かったと言う事でしょうか。私は、前回の様な経緯で行われたのか分かりませんが、その時いろんな条件、特性をすべて出してしまっ、市民会館付近と前は決定されたんですか。

(企画経営部長)

前は、5箇所、順番がばらばらですみませんが、新玉名駅周辺、市民会館周辺、県の地域振興局、それと、現庁舎、先ほど人口重心点と申しました小島橋付近、という5箇所でございます。それと今お尋ねの様に、検討する要素、項目、これは全くではございませんが、基本的にそれぞれの地区の特性を比較して検討されたものです。それに準じて今の3箇所も再検討、分析をして示しているところです。

(委員)

その特性というのは、前回決定した時と変わってないと言う事ですか。

(管財課)

例えば、4年前に作った基本構想に、これと同じ様な項目を載せてます。4年たっておりますので若干不要な部分は省いておりますが、同じ様な項目で検討は行っています。その時と条件が違うのは、市長がマニフェストの中で最低20億という事業費削減をおっしゃっていますので、事業費削減をする為には、どこを削るか、という事で、まず現在地においては用地買収、拡張をしない。現在、今有るままでとしているが、4年前は、周辺隣地

を買収したり保育所も一緒に使用したりして面積を倍の 18,000 m²位に広げる計画にしていた。しかしそれはお金がかかるので、当時の計算では約 75 億円位の資産結果になっていました。そういう条件の違いはございます。市民会館付近についても若干面積をおとしています。凸版に関しては、前回まで出ておりませんでしたので、まっさらの状態です。

(委員)

安くされるのはいいと思うんですが、ここに書いてあります平米の 33 万から 30 万にしてあるが、内容的にそれで十分に機能が満たされるという事ですか。平米数の 30 万に落とすと言う事は、どういう結果をもって落とされているんですか。

(企画経営部長)

検討委員会の中ではですね、平米当り30万円というのが限度であろうと言う意見を頂いています。

(管財課)

建築の専門化の方も数名入っておられて、今の建築の相場が30万程度が十分可能である。それよりも落として行くと落とした分、当然造りが悪くなるので30万というのは、適当な金額という意見は頂いています。検討委員会の中で 10,000 m²に落として、単価も30万に落とすというところで考えましょうというようになった結果です。

(会長)

面積を 1,576 m²落としています、最終年度で職員数は 504 名程度になるでしょう。

(管財課)

しかし全員が本庁舎に入るわけではありません。保育所、給食センター施設などがありますから。

(会長)

規則とかがあるでしょう。500 人以上は何万 m²とかの基準面積があるでしょう。

(管財課)

職員一人当たりの基準面積があり、それで計算すると入る人数が 400 名程度となりますので、11,000 m²までが標準面積となります。したがって、若干狭くなります。

(委員)

先程、市長が言われました白紙に戻し、現在地の建替えが最終的に残るのが不思議で成らない。普通は、用地買収して土地は余っているが、わざわざ今の土地に建替える意味があるのでしょうか。またなぜそれが最終候補地に残るのでしょうか。わざわざ手が要る事を行うのでしょうか。今の本庁を見て分かるはずでしょう。駐車場は無いし、雨漏りはするし。

(委員)

職員用はゼロ台となっている様ですが、職員は何で通勤されるのですか。現在の所に建てるのであれば。

(管財課)

今も300名超、臨時を入れれば350名程敷地の中に居ますが、職員の車は、南側に詰めて入れて120台程、他の者は、民間の駐車場であったり、河川敷などであったり、市の他の土地に置いて歩いて来ています。

(会長)

庁舎自体が安くなっても、土地にスペースが無いので立体駐車場を造るなら必要以上に費用がかかるのではないのか。

(管財課)

用地を買わないという大前提で、その部分がゼロですので。

(会長)

例えば、凸版の土地を買うとすると、今市民会館の田んぼを買うのでは、桁違いでしょう単価が。

(委員)

私が思うに、削減よりも便利性が有る方が良いと思うのですが。せつかく新しい庁舎を建てるなら皆が利用し易い庁舎を建てた方が良いのではないのでしょうか。お金の問題ばかりでは無く、利用し易い庁舎を建てなければ。将来を見据えた上で建築しなければいけないと思う。あまり削減ばかり言うと言う考えになるんでは、一番の考えはみんなが利用しやすい庁舎だと思う。

(会長)

だから、平地が一番良いのでは。

(委員)

この資料を見る限りでは、皆さんが言われているように市民会館付近が一番利用し易いしいと思うんですよ。でもここで一番気になるのがタイトなスケジュール、余裕無しと言う時間的問題、今、会長さんがおっしゃるには、4年前からこの土地とは皆の総意のもとに決まっていた様な言い方でしたが。

(会長)

市民会館付近は、今どれくらい用地買収ができていますのか。

(管財課)

合同庁舎北側の部分を 5,101 m²。土地開発公社の方で購入している。市としての買戻しは出来ていません。

(委員)

ここを言い訳にしてほしく無い。4年前も市民会館付近が良いという事で、それをまた白紙に戻して検討されて、今になってスケジュールが間に合わないから他の所にとというのは理由にならないと思うので、委員が言った様にその辺は何とか間に合う様に進めた方が良く思うんですけど。

(企画経営部長)

スケジュールが間に合わないからとは申ししていません。昨年の秋の選挙が終わった後、新庁舎については慎重に進めて行くと言う事で、今日のこのような形になっていることで、

この間に約一年を要したという事です。その間が新庁舎に関しては、方向は決まっていたが実施設計に至らない、あるいは市民会館周辺の買収に入って行ってない、というところが今の現状ですので、そういう中で場所の問題点・課題・方向性を見て頂いて、今日のこの様な形で皆さんから意見を頂きたいというのが、今日の主旨ですので、皆さんに意見を言って頂く事で、今日内容等を「天水では、この様な意見でした」と言うことを当然議会にも報告しますので宜しくお願い致します。

(委員)

私は、転勤でいろんなところを回ってたんですが、ここに来て思ったのは、ポッン・ポッン・ポッンと要所の所がある。本来であれば、ひとつの所で用事がなされるというのが、市民にとっては利用がし易いと思うんですよ。新幹線が通ったり、バイパスが開通したりすると交通の利便性も良くなるし、これからいろんな方が入ってくるという事も考えたりしたら、余りあちこち動かないで出来るというのを考えると、市民会館・合同庁舎・警察などいろいろありますよね。先程も言われている様に、4年前は天水町はこういう方向性で行くと言われていたのであれば、そういう方向性の方が良いんじゃないかなと思います。玉名市役所はとても使い辛いですね。行く時も、国道 208 号線に面しているので分かり易いですが、車の出入りや、離合する時に接触しそうになったりとか、外部から来る人で、すごくこういう所に何でわざわざ、て思うんです。先程、中山委員が言われた様に何で現市庁舎がこんこんと残るのが疑問なんです。やはりこれからの事も考えると岩崎の市民会館付近が良いんじゃないかなと思います。

(企画経営部長)

今委員さんがおっしゃっている事が、まさに先ほど申し上げました5地区を検討する際に、各地域協議会、市内部執行部、議会などいろいろ、各ところから出て、市民会館周辺にこれだけの国の合同庁舎・文化施設・福祉施設そういうのが有って、今後も将来に向けて利便性が高いというところで方向性がなされた。今の庁舎の所は、駐車場も狭いし、出入りもしにくいという事で意見が出て方向性も出たのですが、先程市長も述べられた様に市民会館付近を争点にした結果を再度、市民の皆さんや各団体・地域協議会に意見を求めたいと、おっしゃっているところです。

(会長)

そう言う意見でまとまっていたんです。でも4年に1回選挙がありますので。

(委員)

それは、おかしい気がする。決まったことだから。

(会長)

去年の秋の市長選挙で、庁舎建設問題が争点だったでしょう。市民の人が賛成した訳なので、いちから、白紙から出直す事は、当たり前的事ですので、一年以上用地買収は進んでいないわけですね。

(委員)

これから先の合併を考えたときに市民会館付近がいいかな、と思ってます。若い方の意

見を聞くと、今の現庁舎に小さい子供を連れて行くのは大変との声も耳にしますし、やはり私は市民会館付近で、平坦地の方がいいと思います。

(会長)

高齢化が進んで行くので、お年寄りが利用しやすい様に、一階に窓口は有った方がいいと思います。

(委員)

位置の問題を出されるならば二箇所が良かったと思います。凸版は、企業が出た後に企業を誘致するという考えが良いと思います。

(会長)

凸版は、先程聞きましたが検討委員会にも入ってなかったし、議会の特別委員会にも諮って無かったのですか。

(企画経営部長)

先ほど市長が言いましたように11月1日の特別委員会の中で、皆さんに示した様な話を入れます。先般、9月議会の一般質問等では、凸版あたりの事を市長の言葉として答弁では出されてはいます。

(会長)

他にございませんか。

(委員)

こういう議論を行っていますけど、検討委員会と地域協議会、それと市民との重みと言うのは、どの様に考えていられるのでしょうか。今言われた様に、凸版は出ていなかったと言う事で、その後に出てきた。検討委員会では、どういう形で思いを置かれたのか。意味がちぐはぐの様な気がします。何を重点に考えるのか。我々地域協議会が大事なのか。決定する際の重みは、何が一番なのでしょう。市民の意見が主に考えられるのでしょうか。検討委員会では、今、3案出ていますけど、2案しか検討委員会にかけてない。3案出ているなら意味が分からない。検討委員会で検討した意味は何だったのか。ここで凸版を出したのがいけない様な気がします。2つに絞って進めるべきではなかったのでしょうか。でないと検討委員会の意味がなしてない様な気がします。どこの意見を決定意見として重視されるのか。その辺をどの様な考えを持たれているのでしょうか。

(企画経営部長)

決定としては、本日の昼開催されました玉名地域協議会の中でも委員の方から出たのですが、最終的には、市長のリーダーシップを持って、という様な意見も出ていました。という事は、たくさんの意見をお聞きして最終的には、期限が有る様で無いわけですので、私共も含めて調整していかなければいけないのかな、と思っております。

(委員)

決定までの、プロセスと言うか、どの様に会議を進めて行かれるかを教えて頂きたい。今からの日程等。

(管財課)

今日、午後より玉名地域協議会があり、今夜の天水地域協議会と来週には横島・岱明の2箇所、来週の月曜、11月1日には、議会の特別委員会が開催されます。決定する際には意見もちろんですが、評価も市役所の中で行わなければならないと思っています。決定は議会にかけるわけではございません。決定に伴って来年の予算の提案が必要になります。予算の提案で議会にかけます。12月の議会には間に合いそうにもございませんで、3月の議会になりそうです。ただし決めてしまうのは、年内の内には行った方が良いでしょう。

(委員)

議会が決定の場ではないという事ですね。

(管財課)

そうですね。4年前に市民会館付近と決めた時も、議決事項ではないからですね。議会で議決を貰っているわけではないです。全協議会、全議員の皆さんにお話して同意は頂いています。満場一致では、ござませんが。

(天水総合支所長)

すみません、ちなみに玉名地域協議会では、どの案が強く押されたのでしょうか。

(企画経営部長)

具体的に何処というのではありません。委員の方が市民会館付近を推されたり、今の現庁舎を推されたりとの意見だったと聞いております。

(天水総合支所長)

地域によって違うのかなと思ったのですが。

(管財課)

玉名地域協議会の方々は、一番近いからですね。やはりどうしても天水から遠い玉名を見ているのとでは、違いはあると思います。

(会長)

現庁舎を建替えるにしても、海岸線からも、まだまだ道路アクセスが必要ですし、市民会館付近にあっても一緒ですね。道路は、やっぱり造らなくてはならないし、どうせ道路を造るなら広い所が良いのではないかと思います。

(委員)

天水の場合は、4年前決まった事が一番良いのではないかと、いう事で決まっているのだから条件的には一番良いのでは。この資料の中でも利便性とか街づくりとか計画実現性など全部丸印ばかりなので、他の候補地に丸印はないでしょう。アクセスあたりも将来的には、市民会館付近あたりが良いのではないかと思います。問題は、用地買収の問題ですね。現庁舎の跡に建設することについては、取壊しの経費が物凄くかかる。市民会館の方は、それが要らないでしょう。凸版印刷という案は、市民の皆さんは知らないのでは。街の人達、商売をされてる人達は、現庁舎の跡に造って欲しいのがやまやまででしょう。

(委員)

玉名市も人口的には、築山の方に移動しているでしょう。玉名の中心部は空洞化になっ

ている。わざわざ狭いところに造るより、広い所が良いと思うんですが。

(会長)

結論は検討委員会では出せないでしょう。やはり市長が出さないと。

(委員)

ここで決める必要は無いので、何時までも時間ばかり掛かるので。

(天水総合支所長)

前は、天水地域協議会で統一していたけど、今回は、統一しなくて良いという話でしたよね。本当に今回は、統一しなくて良いのですか。

(企画経営部長)

統一する必要はないと思います。今日沢山、各委員の方から意見を頂きましたので、意見を集約・整理して、天水町としては、こう言う意見があつてとして出したいと思います。

(会長)

前回は、市民会館付近が良いという意見ですので、これを文章にまとめて市長に天水町協議会として答申したわけですが、そうしなくても良いのですか。ただ話しをしましたでは効果は無いのでは。

(管財課)

いや。意見を整理したのは頂く様にしています。

(委員)

だからここ天水地域協議会で決定すれば良いのではないですか。皆の意見がこうだったと言うことを。

(会長)

前は提出したが、今回は、まとまったのは要らないと言われるので。玉名市地域協議会はまだ委員の意見を聞くということだけですか。

(企画経営部長)

玉名地域協議会はいろんな意見が出ましたので、意見がまとまらなかったということです。ただ全て全会一致ならまとめていただいてもかまいません。

(委員)

じゃあ会長、天水地域協議会はまとめて強く要望しましょう。

(会長)

それでは、いろいろご意見が出ましたが、天水地域協議会としては市民会館付近が良いという意見で、まとめて要望書を出したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員全員)

はい。いいです。【委員一同拍手】

(会長)

それでは、文書にて提出したいと思いますのでよろしくお願いします。一旦、休憩致します。

————— しばし休憩 —————

(会長)

それでは議題 2 番のバス路線の再編について、地域振興課より説明お願い致します。

【バス路線の再編について 地域振興課より説明】

(会長)

ただいまバス路線の再編について地域振興課より説明がありましたが、何か質問はありますか。たとえば天水から何処で降りて、乗り換えればいいのか。

(地域振興課)

一番乗り換えやすいのは玉名駅から 1 日に新玉名駅のほうに 32 便あります。それプラス九州看護福祉大直行便が何便か乗り入れますので、バスをご利用いただく場合は、玉名駅乗換えと言うことをお願いするということになると思います。

(委員)

いいですか。前から疑問を持っていたのですが、我々天水の路線を通る昼間のバスは、空席が余りにも多すぎると疑問を持っていたのですが、検討はされているのでしょうか。ようするに自治体の負担が増えるわけですから、色んな検討をして今の在来線を、そのまま走らせるという状況になっているのでしょうか。あまりにも空いている様な気がします。

(地域振興課)

はい。天水を通っているバスに限らず、結構無人、無線バスと言うか、空気を運んでいると言われる様に、路線バスの利用が少ないのが現状です。今回は、最初に説明しましたように、新玉名駅開業と言う事をまず第一に考えた路線の変更です。利用状況とか更なる利用者の掘り起こし、路線を変えた方が良いか、時刻を変えたら良いか意見を伺いながら3年程度かけまして路線の見直しをして行きたいと考えております。

(委員)

今、路線の変更等だけで、どうにかなるとは思えないのですが。基本的な考え方として空きバスを走らせるのが本当に良いのか、疑問に思っています。乗客が少ない時間帯は、マイクロバスでも良いのでは。そうすれば経費的にもダウンするのではないかと思います。そんなのは検討されているのでしょうか。

(地域振興課)

今、産交バスのほうでも名前がミニバスか豆バスだったか、10人乗りくらいのマイクロバスを路線バスとして走らせる実験を天草の方で始められています。空でバスを走らせるというのが経費の面で、どうなのかなと言う点も有りますので、それなりに努力をされているところ。今後、玉名のバスを見直すにあたりまして、利用の状況に応じたバスの大きさというの導入に向けて考えていただく様に、こちらからも訴えていきたいと思っております。

(委員)

当然、負担をしているわけですから、それだけの事は考えて貰わないと。又路線だけ変

更して利用が増えるとは思えません。だから交通経費のかからない交通形態を考える必要が有る。これは、前からでしたので今検討する問題ではないと思います。

(地域振興課)

おっしゃるとおり、経費を少なくすると、利用を増やす事、両方考えないといけないんですけど、経費も、どうしたら少なくなるか事業者と一緒に市の方も考えていきたいと思っています。

(委員)

教えていただきたいのですが、新幹線が着いた時に、お客さんが降りられて観光ルートとしては、阿蘇、菊池方面のアクセスなど、どの様に考えておられるのでしょうか。

(地域振興課)

今日お示した、バスの路線というのは阿蘇方面に近いところでも山鹿までです。位置づけが生活路線という位置づけがありますけど、バスで阿蘇に行くという事も考えられなくはないという事で当初各バス事業者さんに新玉名駅が設置されますと、山鹿を通って菊池を抜けて阿蘇に延びる道というのもストレスのかからない沿線に、見所の多い路線ですので観光バスの運行乗り入れを検討いただけないか、とお話致しました。そこで行政の方ではいくらか負担するという事は申し訳ないけど考えていませんけども、という前提の中で要望しまして、話しは聞いていただいています。その中で実際の新玉名駅の利用状況が見えない内に、定期観光バスを用意するという事は、出来かねる。という返事でした。新玉名駅での利用状況を見ながら出で来るものかなと思っています。もう1点、現在の玉名駅を基点としまして「山鹿、菊池温泉郷」というバス、「スキップバス」という名前が着いているのですが、予約制で、JR 玉名駅～山鹿バスセンター～菊池城～菊池温泉、というのを1日、2便九州産交さんが運行されています。これも定期観光バスの利用状況を見極めながら一つの立証実験という事で運行をされています。バス会社としても新幹線の開業がひとつの営業の売り物になるのか、どうか見極めていられると思います。

(委員)

温泉の女将さん達の組合とかが、菊池温泉の方々と協力して新幹線で来られるお客様を見越して活動を行っておられると聞いたことがありますので、定年退職をされた夫婦などが、熊本、阿蘇を含めて、温泉まわりなど、若い方達にも温泉は魅力的な観光のひとつになっていますので、もちろん採算性の事も大事ですので、是非検討の中に入れていただければと思っています。

(会長)

他に、ございませんか。

(委員)

今の話の続きですが、是非草枕、天水の方に来ていただける様なルートを組んでいただいたら良いのではないのでしょうか。

(会長)

今は、観光バスのことではなく、路線バスの話ですので。

(委員)

新玉名駅は、1日何本停車するのですか。

(地域振興課)

まだダイヤの発表があってないのですが、ちなみに在来線、今の鹿児島本線で玉名駅が上下で特急が4本止まっています。選考会議をしている九州新幹線八代以南の方が新水俣駅で1日上下2本止まっています。今までJRの記者会見を見ていると現行の特急が止まっている上下4本は、おそらく止まるのではないかな、と考えていますけど、いかんせん公式な発表がなくて、想像で4本位ではないかと言っているだけで、だいたい4本位だろうというつもりで、バス路線の方も考えはしております。

(委員)

在来線の特急は無くなるのですよね。

(地域振興課)

そこも、まだ発表がないので。

(委員)

特急は無くして快速にするとか、そうなると思うんですよね。

(地域振興課)

いかんせん公式な発表が無い中で、今までおっしゃる様に先行会議をしている所は無くなっています。

(会長)

バス路線の件につきましては、よろしいですか。

(委員全員)

はい。

(会長)

それでは、バス路線の再編についての質疑を終わりたいと思います。

————— しばし休憩 —————

(会長)

続きまして総合支所から支所への移行についての説明を事務局よりお願いします。

【総合支所から支所への移行について事務局より説明】

(会長)

ただいま総務振興課長から詳しく説明がございました。それでは、各種団体、会長さん方にはご苦勞願いまして意見を集約して頂いていると思いますので、発表していただきたいと思います。では、区長会長さんよりお願いします。

(委員)

10月20日の夜に区長会を開催しまして協議を致しました結果、今の総合支所をそのまま残して欲しい、存続をして欲しいとの結論に達しました。支所の形になりますと印鑑証明、住民票など、取るだけならば、コンビニや郵便局などでも取れる様になるのではないかと。という意見もでました。横島・天水・岱明は、地域的に違いがあります。天水の場合は、山あり水田ありの起伏にとんだ地形であります。その関係で支所だけとなりますと職員が減り、4～5名になりますと緊急時、職員が本庁から来るとなると時間がかかるので、現在の総合支所の人員、体制を確立してくれないかということでした。特に農林水産建設課等については、特に地元の職員を配置してくれないか。地形的に緊急の場合が、場所的に分からない職員が来ても困る。という意見が大いにでましたので重点に考えていただきたい。結論は、先程申しました様に総合支所をそのまま存続させて下さいというのが結論でした。以上です。

(会長)

新庁舎が出来るまでは、そのまま行って欲しいという事ですね。

(委員)

新庁舎が出来てもです。

(会長)

出来たらもう決まっていますので。

(委員)

合併したなら衰退しない様にしてほしい、何の為に合併したのか。例えば農業委員会でも打ち合わせをするなど玉名まで行くので昼までは時間がかかる。天水で行えば1時間程で済むのに、と言うような意見が大いにありました。

(天水総合支所長)

合併して支所になっても今の総合支所の様に対応して欲しいという事ですね。

(委員)

支所になっても、総合支所の体制をそのままして欲しいという事です。

(事務局)

人員を確保してくれという事で、総合支所として残して欲しいという事ではないのですか。

(天水総合支所長)

最低でも、今対応している分に対応してくれという事ですね。

(会長)

続きまして農業委員会宜しくお願いします。

(委員)

農業委員会も区長会長の意見と同じですが、支所になっても農業委員会だけは残して欲しいというのが結論でした。天水は、特にみかんが不景気で耕作放棄地が多いので小作契約などがかなり多く、又年配者の方が多いので簡単な契約や手続きなどは支所で済むようにして欲しい。

(会長)

担当の職員は、一人は置いて欲しいという事でしょうか。

(委員)

はい。一人は置いて欲しいという事です。横島や岱明より耕作放棄地が多いので。

(会長)

続きまして消防団宜しく申し上げます。

(委員)

分団長会議でいろんな意見が出たんですが、区長会長さん・農業委員会とほぼ同じ意見なんですが読み上げます。天水の住民に身近な行政を行って欲しい。ハード面 例えば建設経済では、本庁に行くことはあるていど仕方ないと思うが、ソフト面 保健・福祉等など町ぐるみの行事に対応していただける様な担当者を数名は支所に配置していただきたい。出来れば現在の形を継続されることが理想であります。という意見が出ました。他は、消防団の将来の要望ですが、分団の統合を進めて欲しい、団員不足解消の為に、消防団員の OB 制度を設けて欲しいなど色々な意見が出ています。特に消防団の場合は、火事や災害が有りますので、担当者は誰か一人天水に置いて欲しい。

(会長)

続きまして輝く女性づくり協議会 宜しく申し上げます。

(委員)

郷〇市の出荷協議会の皆さんと一緒に10月12日に婦人の家で会合を行いました。その中で経済が厳しい状況ですので、やはり農政に関する課は是非残して欲しいと言う事でした。役場と総合支所の違いを比べると、区長さん・民生委員さんなど随分様変わりし、簡素化して細やかなサービスが出来なくなって来ているのが見えるので、是非とも支所に移行していく場合でも今と変わらない様に私達は求めて行きたいと思いました。人と人との繋がりを残して欲しいと言うのが皆さんの意見でした。

(会長)

続きまして商工会 宜しく申し上げます。

(委員)

商工会には、観光部会というのがあり天水町には、草枕、笠智衆などの観光物件があるので観光に関連のある窓口を残して欲しいという意見がありました。

(会長)

今は、観光窓口は無いのですか。

(天水総合支所長)

観光は、無いですね。

(委員)

横島・岱明には観光物件が無いので、天水に持って来れるのなら持って来て欲しいという意見です。商工会の青年部なども天水が一番活発に活動していますので。

(会長)

続きまして農産物直売所 宜しく申し上げます。

(委員)

天水町は、農業の方が多いので担当の職員さんが居て欲しいという事と、支所に成った場合、特に福祉関係については、年配者の方、子育ての方の為にも残して欲しい。とにかく現在の業務のままの体制でいて欲しいという事です。話は少しずれると思いますが、保育園に入れる際の手続きが簡単に出来る様なシステムにして欲しいと感じました。また、玉名は、山に囲まれているので猪の被害も増えているので、市の方で何とか対応していただけないか、と言う意見も出ていました。

(会長)

続きまして認定農業者協議会 宜しくお願いします。

(委員)

10月22日に役員会を開きました。農業委員さんと重複する部分もありますが、土地の流動化に伴う業務、その為には農業委員会を残して欲しい。常駐が無理であれば週の半分以上は、午前または午後に必ず置いて欲しいという事でした。天水町は、どうしても農産業でなりたつてと思うので、それに伴う情報の窓口と言うか、いろいろな政策とか、事業資金等に詳しい農政の専門知識を持って方を担当で置いて欲しいという意見もありました。毎年制度資金なり政策がよく変わるので、一番新しい情報を入れていないと使えないのが多いので、情報の窓口だけは、どの部署に有っても分かる人をおいて欲しいという事を強く願います。

(会長)

只今、各種団体・会長さん方に意見を取りまとめていただいて発表していただきました。他の委員さんの意見も聞きたいと思いますので、有りましたら宜しくお願いいたします。

(委員)

玉名市の地図を、ものさしで図ってみると玉名市の中心部から三ッ川が遠いように感じるが、そうでもなく八久保を図って比べると八久保は中心部から非常に遠い。天水町は、非常にアクセスも悪い。国道を通ると時間がかかる。今、各種団体から意見がでた様に、農業・福祉関係・また総まとめの総務課は必ず必要だと思います。職員、スタッフは、今の様な人数が必要だと思います。少しは地理的な面を考慮してほしい。

(事務局)

10月8日の各団体長さんとの会合の中での統一意見として、支所が変わるまでには、必ず本庁に行くアクセス、道路を完成させといってくれと言う風なことの総意と言うのはございました。この事は非常に重要な事ですのでご報告しておきます。

(委員)

本庁までの時間は、最低15分~20分以内で行けないと、30分も40分かかってはいけな
いと思う。国道208号線を通って行ったら 30~40分、下手すれば 1時間近くかかるので。

(委員)

ここから10kmしかないが、時間が相当かかるんですよ。

(委員)

総合支所で残すと、今の形、人数を残すという事は出来るのですか。我々が要望すれば出来るのですか。

(天水総合支所長)

総合判断ですので、ここで決めた事が直ぐ出来る訳ではありません。ただ要望するだけです。天水総合支所としての意見を出すだけです。全部の意見が認められるかと言うとそうではありません。その中から検討されていって今から先、総合支所から支所になった場合は、どういう形の事務が出来るかという判断が出来るわけです。

(委員)

当然、支所になるのは間違いないのでしょう。

(天水総合支所長)

支所になるのは間違いありません。地域的な問題は強く要望していいと思います。

(委員)

今、色んな意見を聞いていると、支所になれば課が頭になるわけですよね。市民課は、当然置かれるでしょうが、その他に色んな問題を聞く「何でも課」という課、活性課をつくり、その中に一人ずつ専門職をおくことは、可能なのでしょうか。

(天水総合支所長)

それは、これからの検討で、出来る可能性はあります。

(委員)

でないと今言った様な人達をおく為には、総務課を置くのではなくて違った課をつくってそこに総務、いろんな人を置いていく。そういう問題が解決出来る問題なのでは。

(天水総合支所長)

人事課もこれから先どうしたら良いのか頭の中にないんですよ。ですので私達に求めているんです。今の様な話を要望すれば、出来るかもしれません。

(委員)

私は、課をつくってそこに一人ずつ集合させる事が、一番の方法ではないかと思います。

(天水総合支所長)

今出た意見を拾い集めて5人か6人に成るか分かりませんが、それが一つの課になるかも知れません。

(会長)

今、各種団体から意見を聞いた様に、専門職が必要になるわけですね。

(委員)

人事課というのは、とにかく引き上げろっていう事で、難しい事は考えないのです。周りから意見を言わないと分からないので、農業委員会が始まる2週間前から常駐させると言っていたんです。先程も言われた様に3人も本庁まで行き受付し、契約するのに時間がかかるので、1時間位で済むように天水で行うように要望したので取り上げられ現在の様になったのです。やはり言わないことには。

(天水総合支所長)

これから先、支所になるじゃないですか、支所になった時は、地域協議会は、無くなるんですよ。無くなった時、今の様な話し合いを何処で行うか。何処が吸い上げるかと言う話ですよ。これから先は、区長さんにまだまだ活躍していただきたい。

(委員)

前は、町議員の人も各地区に一人ずつ居たので、区長さんとか地域の人と話をして取り上げていたが、今は、天水には3人しかいない。地区の人は、区長に相談して区長が議員さんのところに相談に行くというシステムなので、区長は、大変ですよ。

(会長)

支所になったら、この協議会は無くなるので区長会に頑張って貰わないと。

(天水総合支所長)

支所の人数が 5・6人になって、住民の人達の意見を聞くか、上につながるか分からない。

(委員)

区長会の話の中でも、今の区長の数は減らさないでくれという意見も出ています。

(会長)

各種団体会長さんから意見が出ましたので、これをまとめて提出するそうです。それでは4番のその他事務局から何かありますか。

(事務局)

農業委員会の体制を説明致します。4月1日に農業委員会の事務をする職員が玉名市の農業委員会の出張所という形で配置をされて、6月いっぱいまでは、月曜～木曜までの4日間各支所で仕事をしていたわけですが、7月からは、職員は吸い上げます。という事で1ヶ月に3日程度来ます。となっていたわけですが、区長さん方の強い要望で引き置き置いてくれないか。と言う事で、7月1日からは、毎日の午前中が月曜から木曜まで農業委員会の職員は、そのまま在駐するという事で 23 年の 3 月 31 日までその体制でいくと思っておりましたが、9月6日に突然異動がありまして、農業委員会の出張所としては廃止する、ただし農業委員会の職員を総務振興課内に配置し、総務振興課の職員として行っていくという様に組織体制が変わりました。但し、総務振興課の職員は、1名減っております。農業委員会の職員が全日居る様になりましたので、ご報告致します。

(会長)

その他にしまして意見ございませんか。

(委員)

印鑑証明、住民票の受け取りだけでなく、市民課の方に福祉関係がありますよね。今すごく重要視されているので福祉関係の職員さんを何人か置いていてもらわないと。

(市民福祉課)

総合支所が無くなって支所になるその時に、今行っている業務をそのまま残していただくというのは不可能になると思います。ただ何にせよ支所になるわけですから、今回は、今

の業務を残す様に言います。本当に支所に成った時、何を市民福祉に残すのか、という事だと思います。今は本庁の7つの業務を行っています。国民健康保険、高齢、福祉、介護、検診、環境等の業務を行っている中で何を残すか、いずれ証明書発行等については、民間に委託するか、コンビニに成るかもしれませんが。今、会長がおっしゃった様に福祉関係、高齢者のDV問題など、そちらを中心に残さざるを得ないのかなどの思いがあるので、基本的な考え方としては、生活弱者、体の不自由な方、高齢者に関する福祉業務が中心に残らざるを得ないのかなと思うんですけど、それで良いのでしょうか。検診や保育所の問題など有りますが、こちらの方は必要なんでしょうけども、そちらの業務をやると人が少なくなった時に、福祉の方がやれないとなり、どちらを優先に行うかと思うので今回は、そのまま残して欲しいという話を出しますが、そういう理解で宜しいでしょうか。

(委員)

先程、委員さんが言われた様に、この地域は農業の地域ですから活性化をするには農業問題等に取り組んで行けない中で、融資や政策など教えてくれる人など詳しい人が一人か二人農業関係に通じている人を残すのも大事ではないでしょうか。福祉も重要だと思っていますが、農業の面も大事ではないかと私は、思っています。

(委員)

これから先は、福祉の時代ですので農林水産、農業関係は専門化がいれば大抵の対応は出来るから。一番心配するのは、農業関係、建設関係にしても知らない職員だったら話が出来ないので災害時など場所を知らないなら話にならない。職員が減ったら減ったで対応しなければならぬので地元の職員が適任なのではないかと思う。

(事務局)

現時点では、今の様な意見で職員を置いて欲しいだとか、もう少し具体化して総合支所は10人位で良いのではとなった時に、どうしていくか、その様な段階的な検討が今後必要ではないかと思えます。まだ何も分からない時に、全てを残すという意見があっても当然だと思うし、5人位になった時の議論を今行っても分からないので、段階的な議論を行っていかねばならないと考えております。ひとつ確認というか説明不足だった点があるのは先程お話した庁舎建設ですが、庁舎が出来た後に支所になると説明しましたが、これは合併当時の約束であって今の現状としては何時支所になるかというのは分かりません。来年かもしれないしそういった観点で捉えていただきたいと思えます。

(天水総合支所長)

総合支所から支所へ移行の時期については、どうした方が良いでしょう。先程言っていた道路交通網は増やした方がいいのでしょうか。

(委員)

まずは場所が決まらぬと話にならない。話はそれありきですよ。全て、今日のような話では先に進まない。たしかに、職員を減らされるのは仕方が無いと思えますが、百歩下がって、職員の質を上げて貰う様にしなければ仕方がない。

(天水総合支所長)

人が減ったのに対して機構改革や行政改革などで対応されているので、その辺を1つの課にまとめて、より詳しい人を配置して行かなければ仕事が進まないのです。今は、全然違った分野の方が配置されている状態なので、人事課もその辺を考え今後配置を行って貰わないと。そうでないと職員自体が無理をする。

(委員)

時期としては、遅くても5～6年先には支所になるのでしょうか。

(天水総合支所長)

新庁舎が出来た後、移行してくれという事でいいのでしょうか。

(会長)

他に何か、聞きたい事などありませんか。

(全員)

はい。

(会長)

いろんな議論が出まして意義ある会議だったと思います。長時間にわたり本当にお疲れ様でした。

12 会議録作成者

天水総合支所 総務振興課係長 齊藤深雪

13 会議録署名人署名欄

--	--

14 問い合わせ先

玉名市天水総合支所 総務振興課 TEL 0968-82-3111